

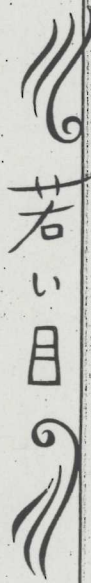
未来へつなげよう

鹿児島東高2年

梅木 彩加

「総合的な探究の時間」で、森林と林業について学びました。「地材地建」という言葉が心に残りました。鹿児島県独自の造語で、地元産の木材を使い、地元の工務店などが木造住宅を建設することと教わりました。「地産地消」に似ています。

地材地建には主に二つ



の狙いがあります。一つは地球温暖化の防止です。適正な森林整備は植林、間伐、成長した樹木の伐採、そして苗木の植林というサイクルで行われます。その過程で住宅建築に使われ、保全・再生された森林は二酸化炭素を吸収し、温暖化防止につながります。

二つ目は、生産者と消費者との距離がぐんと

縮まるところです。地元の木材生産者や住宅建築関係者と住宅を建たい顧客が一体となつて家を建て、子どもたちの世代へつないでいく。お互いがつながりの中にいることを実感できます。

木が成長するのに50、60年かかるということにも驚きました。今、私たち成長した木を目にする

ことができるのは、祖父や曾祖父らが植えてくれたからです。森林にとどまらず、さまざまな伝統や文化も、世代を超えて受け継がれていくのだと感慨深くなりました。

私たちもしつかり次世代へバトンを渡したいと思いました。(鹿児島市)

## 日本史を学んで

鹿児島東高3年

渡邊 一華

高校2年生から日本史を選択しました。中学校

の時から、地理より世界史や日本史など歴史を学ぶことが好きだったからです。

中学よりさらに詳しく日本史を学べて楽しかったですが、覚えることが多すぎて、テストの前には何回もプリントを解き

## 若い目

直しました。そして、い

い点数を取れた時は頑張

つて良かったなと思いま

した。

2学期に習った戦争に

ついては、日本が何をし

たのか、外国との関係は

どうなっているのかなど、これまでちゃんと理解できていませんでした。しかし国内外を比べるように学ぶことができたので、とても分かりや

(鹿児島市)



## 僕の幸せを考えた

鹿児島東高1年

高山 利空

気になる新聞記事を見つけた。国連児童基金(ユニセフ)が先進・新興国38カ国に住む子どもたちの幸福度を調査した報告書で、「日本の子どもも幸福度37位」という見出しの記事だった。

実は僕もあまり精神的な幸福度を感じていない。楽しいことや面白いことをしても、「幸せの時間はこの時間」と思う時はほとんどない。目標

## 若い目

や夢を持っているのかいないのか、分らない退屈な日々を送っている。

幸福度が低そうに見えるが、唯一「幸せ」と感じる時がある。母が僕を産んでくれたことに改めて気づく時だ。おいしいご飯を作ってくれる母。どんな時でも支え、心配してくれる母。温かい目で見守ってくれる母。

支えてくれるのは母だけでなく、父や祖父母、同級生、先輩、後輩、恩師などたくさんの方がい

よく生きる

鹿児島東高1年

上籠 璃桜

学校でソクラテスにつ

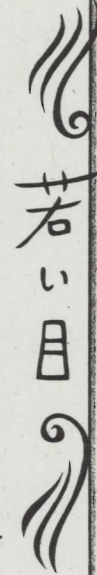
いて学習した。そこで、

自分なりに「よく生きる」

ということについて考え

てみた。

私が考えるよく生きる



# 若い目

とは、さまざまな経験や  
苦勞などして生きるとい  
うことだと思う。

私は4月に高校に入学

して早々、大きな壁にぶ

つかってしまった、それ

は人間関係だ。環境が変

わり周りはほとんど知ら

ない子たち。私は自分か  
ら話しかけることができ  
ず、一人になってしまっ

た。それまで学校で、あ

まり一人になることがな

かった私にとって、とて

もつらい状況だった。

そんなある日、一人で

いた私にしゃべりかけて  
くれた子がいた。高校生

になつてはじめて友達が

でき、学校生活が楽しく

なった。私はその子と話

すようになるまで、自分

から話しかける努力をし

なかった。人はいろいろ

な経験をして、いろいろ

なことを学び、成長して

いくことに気づいた。

「よく生きる」という

ことは、「自分の行動や

言動を見直していろいろ

な経験をし、学び、努力

をする」ことであり、人

として成長していくとい

うことだと考える。

これから本格的に始ま

る高校生活で、あたり前

のことをしっかりとできる  
ようになりたい。

(鹿児島市)



# 得意になった日本史

鹿児島東高3年

宅間 未来

高校で2年間、日本史を学びました。元々、社会の勉強が苦手で、「地理」か「日本史」のどちらかを選択しなければならぬと聞いた時、とても嫌でした。どちらかと

言えば、人物名などを覚える方が楽ではないかと思いい、日本史を選択しました。

いざ授業を受けてみると、とても混乱しました。人物名や国名、年代など覚えることが多く、似たような文化や名前の人がいました。テスト勉強もやる気が出ず、点数は平均点前後でした。そんな私が3年生になり、いよいよ成績を上げ

ないといけなくなりまし  
た。勉強をする内容が  
よく頭に入ってきて、面  
白いと感じるようにな  
りました。テスト勉強も  
やる気が出ました。友達  
に教えることができるく  
らい余裕ができました。

私のように苦手な教科  
が得意になつていくきつ  
かけが、みんなにできる  
といいなと思いました。

(鹿児島市)

## 台湾修学旅行

鹿児島東高2年

上 尚裕

修学旅行で台湾に行きました。修学旅行先が台湾というのは初めてでした。何をするにしても新鮮で緊張するものでした。4日間の日程で、龍山寺や故宮博物院などの有名な観光地をまわりました。しかし、私が一番思い出に残っているのは、現地の高校生と交流したことです。

## 若い目

高校に着くと生徒が拍手で迎えてくれました。

両校代表のあいさつの後、授業を体験しました。私は4人グループに交じって、理科の摩擦力に関する実験をしました。私は台湾の言葉を話せません。拙い英語をなんとか使って一緒に実験しました。苦手な英語で会話できたときは、とてもうれしかったです。校内も案内してもらい、一緒に

(鹿児島市)



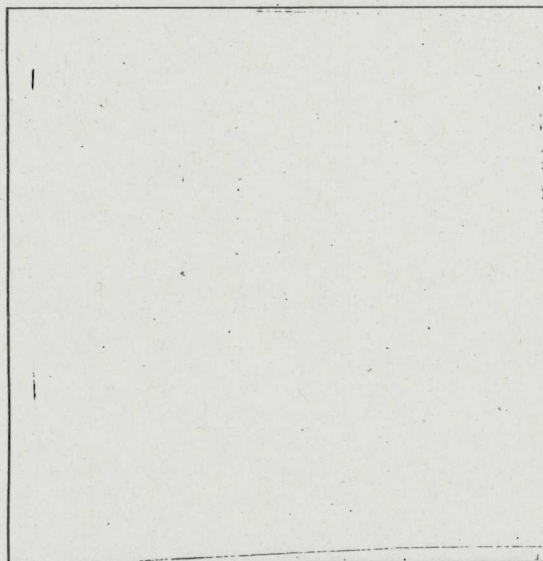
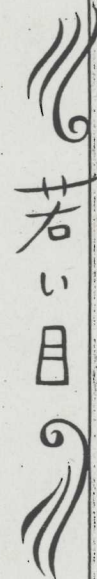
不満のない五輪に

鹿児島東高3年

立切 海斗

東京五輪のマラソンと競歩の開催地が札幌に変更されることが決まった。本紙社説によると国際オリンピック委員会（IOC）が唐突に開催地を札幌に変更した。選手のことを思い競技環境を整えるための判断はとても良い。だがあまりにも急なので混乱を招いてしまった。

私はスポーツにとっても関心があり、オリンピックを楽しむにしている。しかし直前になって混乱があると楽しめない人も



出てくると思う。すでに販売したチケットは払い戻しをしないといけない。厳しい抽選を経て入

催時期はスポンサーの米テレビの意向が優先されてしまっている。選手のことを第一に考えていると言いがたい。

この問題は決して簡単なものではない。これからもさまざまな問題に直面することがあるだろう。その時にはいろいろな人が協力しあい、不満のないオリンピックにしたい。

（鹿児島市）

リハーサルで友人と囲まれながら話すよりも、不思議と緊張しなかった。相手が興味を持つて聞いてくれたからか、うまく案内できたと思う。今回のガイド体験では、人に伝える力、聞いてもらうための工夫など、勉強になることがたくさんあった。今回学んだことを、これからの活動でも生かしたい。(鹿児島市)



## 吉野の魅力や 発信策考える

中高校生が意見交換

鹿児島市吉野地区の歴史や世界遺産を未来へつなぐ方策を探るワークショップが20日、吉野公民館であった。地元中高生を主体に、地域の魅力やPRの仕方について意見交換した。

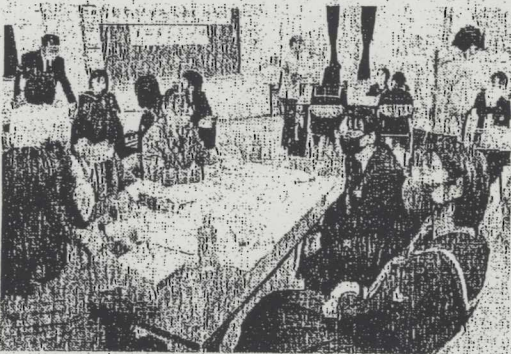
昨年、創設15周年を迎えた地域おこし団体「吉野兵六会」が主催。吉野、吉野東の両中学

校と鹿児島東高校の生徒約20人が4班に分かれ、個々のお気に入り場所を紹介し合った。各班の発表では、寺山展望台や吉野公園の桜など写真映える場所での撮影会を開いては、「豊かな自然や神社を散策する名所巡りツアーもいい」といった意見が出た。

兵六会の永山恵子事務局長(68)は「コロナ禍で活動を自粛する中、若者の柔軟な発想を今後の活動に生かそうと企画した。

吉野の魅力に改めて気付く機会になった」と話した。

(桑元伸二)



吉野の魅力について話し合う中高生ら。20日、鹿児島市の吉野公民館



2021 高校生青春企画

令和2年度 鹿児島県内の高等学校卒業生に贈る記念紙

輝きの瞬間 発行記念

今春、卒業を迎えた

生徒代表からのメッセージ

※順不同 ※希望された学校のみ掲載しています。

鹿児島県立高等学校協会



鹿児島県立  
鹿児島東  
高等学校  
上 尚裕

**かけがえのない時間**

学校行事の準備や運営のために、毎日放課後遅くまで生徒会活動に励んだ。うまくいかない時ほど雑談が進み、本当に楽しかった。三年間一緒に過ごした友人、親、お世話になった先生方、本当にありがとうございました。



# 韓国語スピーチ 高校生らが披露

蒲生で大会

韓国語スピーチ大会

が11日、

始良市の

蒲生公民

館であつ

た。韓国語を学ぶ県内

の高校生ら6組10人が

スピーチや絵本の読

み聞かせを披露した。

最優秀賞に鹿児島東

高校3年の網屋凜菜さ

んⅡ写真Ⅱが選ばれ

た。

在日本大韓民国民団

鹿児島県地方本部が主

催し、7回目。約40人

が来場した。始良市で

韓国語を学ぶ生徒や出

場者8人が、韓服姿で

大衆歌謡「トロット」

を披露して歓迎。出場

者は語学を学び始めた  
きっかけや、現地の友  
達との交流などについ  
て語った。

網屋さんは中学1年

の頃Kポップやドラマ

に興味を持ち、独学で

勉強。高校では国際交

流部に入り、語学力を

磨いた。身ぶり手ぶり

を交えて「尊敬し合い

認め合えば、良い日韓

交流ができる」と思い

を発表。「文化や食べ

物など、韓国の全部が

大好き。良さを広めた

い」と受賞を喜んだ。

(有村美千代)



韓国語の歌で歓迎する参加者

Ⅱ始良市の蒲生公民館